

わがまち自慢④ 「忠海伝統のみこし行事」

忠海町では、毎年7月中旬の日曜日に「忠海祇園祭とみこし行事」が行われています。忠海祇園祭は、忠海開発八幡神社の八坂神社の祭りで、航海安全、商売繁盛、無病息災を祈願して行われ、江戸時代後期から続くと言われています。

みこしのまわし方は独特で、重さ600kgもあるみこしを16人の担ぎ手が、左右に傾けたり、空中に高く突き上げたり、荒々しくまわします。その特徴的なまわし方で、広島県無形民俗文化財に指定されています。

祭りの当日は、朝6時から夜更けまで、みこしが町内を練り歩きます。「奥守さん」と呼ばれる、その年20歳を迎えた男性や、祭りの責任者・指導者である祭領や祭領補佐など、総勢100人以上が参加。地域をあげて盛り上げます。

大本護さんを始め、6人の祭領も、小さい頃からみこしを見て育ったそうで、

「昔は日程が7月14日に決まっていた、平日に当たると、小学校が午後から休みになった。」

「みこしについて行くとお菓子がもらえた。」と、懐かしそうに語りまします。今後については、「奥守さんが一人でもおつてくれれば。」と、後継者問題も切実です。180年以上続く忠海祇園祭。時代を超えて、人から人へ、変わらぬ技術を伝えてきました。この忠海伝統の行事は、今年7月14日に行われます。



▲忠海駅前披露される「堅廻し」



▲20歳の「奥守さん」(手前)と「奥娘」(奥)



▲昭和30年代の集合写真

かぐやパンダ通信

〜夏といえは〜



暑くなってきました。アイスクリームがおいしい季節。かぐやパンダは、PR活動のため、6月23日(日)に広島市の紙屋町シャレオにお出かけし、アイスクリーム協会が行うイベントに参加しました。行き交う人々に様々な種類のアイスクリームが配られる中、アイスクリーム王子とかぐやパンダによるダンスが披露されました。終了後は、もちろんアイスをペロリ。みなさん、応援ありがとうございました！

ティータイム

ベランダで洗濯物を干しているど、どこから飛んできたのか、クワガタ虫を発見。子どもの頃の懐かしい気持ちと、早く梅雨が明けないかなと思いました。これから、権伝馬競漕や花火大会などイベントが盛り沢山。今年も暑い夏の到来が待ち遠しいですね。

(な)

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	28,523人
男	13,538人
女	14,985人
世帯	12,899世帯
1年前	28,693人
5年前	30,217人

— 6月1日現在 —

市政発展のための「ご意見などをお寄せください」

郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課

「市長への私の提案」係 FAX 22-0998

※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。